



実施体制

【事業の目的】

コロナ禍の影響で遊び場難民となっている子育て世代も多く、地域の子育て情報や学童保育情報をネットで探す傾向が多く見られる。そこで当法人では、WEB・SNSサービスを利用した保育サービスを行ったり動画での情報提供を増やしたりすることで、明石市が**最も住みやすい街、子育てしやすい街**となるよう、地域の**子育て・子育てのサポート**を行っていく。

【活動内容】

放課後スクール

～ICTを活用した保育～



「ことまど」新聞作り
計38作品



「おうちえん」情報配信



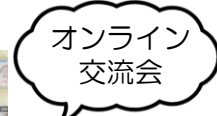
入退室管理システム
カザス導入



ipadを用いた活動
(制作したアニメーション動画は
Facebook上で300回以上再生)

～交流事業～

- ・地域住民や高齢者
(囲碁将棋、グランドゴルフ、英会話、サイエンス他)
- ・企業団体 (フエンテFC、神戸新聞社)
- ・学生 (明石北高校、神戸大学、明石高専)
- ・他の学童 (六甲道児童館)



明石北高校生とのオンラインゲーム大会



～自習室の開放～



地域に開かれた
居場所の整備 (wi-fi完備)



おうちカフェみっくす

- ・オンラインイベント (計4回)
- ・地域の子育て情報の発信

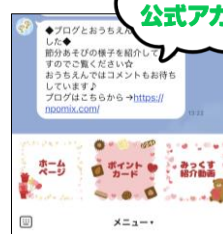


先生のお話をゆっくり
聞いて不安が和らぎ
ました。日々の疑問も
解消できました!



広報活動

- ・HPリニューアル
(一部改修)
- ・バナーの設置
- ・紹介動画の作成
(HPにて公開)
- ・児童募集ポスター
- ・公式LINE
- ・ポイントカード制度



イベント情報の発信
家庭との連携強化

【成果】

★おうちカフェ オンラインイベントにより家庭にいながらも子育て世代同士でのつながりやコミュニケーションの場が得られ、育児の不安や悩み、喜びを共有し、家庭の孤立予防の一助に。

★放課後スクール ICTシステムを活用し、保護者との連携強化、こどもたちのICT活用能力が向上。交流事業では異年齢間のコミュニケーション能力向上や、学生の地域貢献意識の向上、地域のつながりの強化、地域の高齢者や企業が学生と共に活動し、次世代育成の場に。地域に開かれた居場所として自習室を整備。

コロナ禍においても**学生**や**地域の高齢者**と**子育て世代**をつなぐ**拠点**として
地域に開かれた誰でも利用可能な**安心**できる**居場所**を今後も提供

